（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	Ａ　Ｌｉｇｈｔ			
○保護者評価実施期間	7年　2月　3日		～	7年　3月　3日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	14	（回答者数）	11
○従業者評価実施期間	7年　2月　3日		～	7年　2月　28日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	7年　3月　24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置	児童発達管理責任者１名、保育士２名、児童指導員１名の常勤職員を配置しており、さらに手厚く職員を配置をしたい時間帯には、５名の非常勤職員を日により交代で配置をしている。	個々の専門性やスキルのアップのため、研修計画を作成し、頻度を増やし実施する。
2	保護者との連携	毎回の送迎時に、活動内容や様子を報告、子どもの課題や今後の支援について共有するようにしている。	送迎や面談・電話などで、子どもの発達や課題の共有、支援について保護者と連携ができるようにする。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設環境（寒暖差・広さ・トイレの数）	寒暖差・広さ・トイレの数など建物の構造上、改善は困難。	施工時に業者に依頼をし、床全面にカーペットを敷き詰め接着剤で固定をしている。寒暖差にはカーペットを２重にするなど検討をする。夏のトイレは西日が当たり暑くなるため、簾を使用と、サーキュレーターで風を送っている。
2			
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	A　Light

公表日　令和　7年　3月　24日

利用児童数　１４名　　回収数 11

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1			小学生の利用と重なる日は少し狭いかもしれませんが、通常利用の時は適度だと思う。	スペースを十分に確保できるように、今後も不必要なものは倉庫や事務所などに移動し活動を行います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11					現在は、常勤で保育士・児童指導員を3名配置し、必要に応じて非常勤職員を追加で配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11					室内はバリアフリーとなっております。床の色分けや扉で、訓練室・事務所などを分けております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11					毎日、使用した備品の消毒、掃除を行っています。今後も継続して清潔を保持します。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1			親がまだできないだろうと思っていた事にも根気よく取り組んでくれ、想像以上にできることが増えた。 個別に合った指導をして下さり、習得を実感しています。	特性の把握に努めていくとともに、各職員が専門性を深めるための研修などに参加しお伝えをします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	11					支援プログラムは、入り口に掲示とSNSにあげております。今後もたくさんの経験を楽しくできるように支援をします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	1			得意・不得意を明確にして下さり細かい共有もその日その日でして下さります。	送迎や面談などで保護者と課題の共有を行い、個別支援計画を作成します。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			1	得意・不得意を明確にして下さり細かい共有もその日その日でして下さります。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11					子どもからの意見も取り入れ、活動プログラムを工夫します。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3		4		積極的には設けておりません。公園へ行った際に地域の子どもたちに挨拶をする程度です。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11				計画書に沿って説明して下さるので分かりやすい。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	1	2		今後の課題として検討をします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11				お迎えに伺えない時もお電話いただくなど共有して下さるのでありがたいです。 小学校見学への催促やアドバイス、病院の紹介等して下さりとても助かりました。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	3	2	お迎え時でもコミュニケーションを取ってくださっている。	コロナ過以前は、家族交流会等を開催していました。今後の課題として検討をします。

保護者への説明等	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11				とても迅速に動いて下さっている。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11				何を一番に出来るようになりたいか等尊重して下さっている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	3		3	SNSをあまり見ていない。	ホームページやSNSで情報を発信しています。入り口にはSNSのQRコードを設置しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			2	災害時の避難場所等の説明は受けていますが、訓練等までは知らない。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			3	災害時の避難場所等の説明は受けていますが、訓練等までは知らない。	年に２回避難訓練を行っています。今後も連絡帳やSNSで発信をします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	11					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11				体調等も含め、気にかけてくれている。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	11				しぶることなく楽しそうに通ってくれています。 不安がった様子は最初の方でしか見受けていません。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11				子どもにとって大切な居場所になっていると感じます。 行きたくないと言ったことは一度もありません。	子どもたちが楽しみに通所できるように、子どもたちからやりたいことなど意見を聞き支援をします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1			本人のできる事を少しづつ伸ばしてもらえて通所してから成長を感じられます。 計画書の目標に向けて、それに合った指導をして下さり、たくさんの習得をしています。	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	Ａ　Ｌｉｇｈｔ

公表日　令和7年　3月　24日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		不必要なものは、倉庫や事務所などに移動し活動を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		人員を多く配置したい時間帯は、非常勤職員を追加配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		敷地内バリアフリーとなっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の営業後の掃除と、気になった所があれば、その都度掃除をして清潔に心がけている。 寒暖対策はエアコン３台稼働。必要時は石油ストーブを準備してある。トイレの日差しは簾で対策をしている。	床が固く冬は冷たい。トイレは日差しが強く夏は暑い。子どもたちの年齢も上がり体も大きくなったので、できればもう少し広いとよい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。		○	個別の部屋はないが、必要時には相談室などの使用を認めている。	着替え場所の提供に困る。トイレが１室なのが不便。仕切りがパーテーションのみなので、個別の部屋があると良い。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			一部の職員だけになりがち。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年実施し、ホームページで公表している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			勤務時間の短い職員からの意見は把握する機会が少ない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修計画を作成し、計画的に研修を受けている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	○		５領域の内容や事業所で行っている支援を事業所内に掲示をしたり、SNSで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		毎月の職員会議で検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎月の職員会議で検討している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		計画の見直し時や必要時に行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもたちの声を聞き入れたり、季節の行事も検討し、年単位で活動プログラムを工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人ファイルに、どのような支援でどんな反応であったか、どのような支援が良かったかなどを記入している。 記録はしっかりと取り、必要があれば職員同士で話し合いをしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		子どもの状態に変化のある時や半年に１回以上は、モニタリングや面談を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要時に必要な所と連携をして支援を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		提案をし保護者からの希望があった際には、園へ訪問をしたり来所していただき、情報共有や相互理解を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学説明動画や学校見学のご案内、また必要時にはサポートブックの作成のサポートを行い、安心して就学児の意向ができるように支援をしている。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	○		連携はモニタリング時に情報の共有として図っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	公園などであった時に挨拶をする程度。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		1日の様子をしっかりと伝え、休みの間ご家庭で変わったこと、困ったことがあった場合には把握するようにしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントトレーニングは行っていないが、言語訓練は親子参加で行っている。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時にしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○		日頃から確認できるよう心掛けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		面談をし計画を説明した後に同意をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会などは開催していないが、集団療育として土曜日に保護者が顔を合わせる機会はある。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月SNSで活動予定表を発信しています。創作物や掲示物も配信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵のかかる書庫にて文章は保管、SNSの投稿には子どもの姿や名前が写りこんでいないかを確認して発信をしている。職員には個人情報の誓約書・利用者には個人情報について同意書を得ている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		分かりやすい言葉でお伝えしたり、絵カードなどを使用してお伝えしている。 連絡帳、口頭、必要があれば動画などで伝えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		災害時の対応や避難場所については、契約時に書面でお伝えしお渡ししている。避難訓練や防災訓練を実施している。	ご家族の方に周知されているかは分からない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し定期的に避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始時に、服薬やてんかん発作等の確認をしている。	予防接種までは確認していない。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用開始時にアレルギーのアセスメントをしている。お弁当を持参してもらうので、基本的には事業所が食物の提供をすることはありません。	アレルギーのある子どもに対し配慮はしているが、医師の指示書はない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の作成、防災訓練など計画的に行い、安全な環境設定を行い支援をしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○		防災訓練などの取り組み内容については、連絡帳への記載やSNSを通してお伝えをしている。	ご家族の方へ周知しているか分からない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例があった時に作成しています。回覧をし必要に応じ職員会議で再周知している。ヒヤリハットを書いた時には検討してい	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員、年１回以上の虐待研修に参加と、ストレスチェックを行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		保護者の方にもどのような状況だったかをしっかりと説明している。	

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	Ａ Ｌｉｇｈｔ			
○保護者評価実施期間	7年　2月　3日		～	7年　3月　3日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	15	（回答者数）	12
○従業者評価実施期間	7年　2月　3日		～	7年　2月　28日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	7年　3月　24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置	児童発達管理責任者１名、保育士２名、児童指導員１名の常勤職員を配置しており、さらに手厚く職員を配置をしたい時間帯には、５名の非常勤職員を日により交代で配置をしている。	個々の専門性やスキルのアップのため、研修計画を作成し、頻度を増やし実施する。
2	保護者との連携	毎回の送迎時に、活動内容や様子を報告、子どもの課題や今後の支援について共有するようにしている。	送迎や面談・電話などで、子どもの発達や課題の共有、支援について保護者と連携ができるようにする。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設環境（寒暖差・広さ・トイレの数）	寒暖差・広さ・トイレの数など建物の構造上、改善は困難。	施工時に業者に依頼をし、床全面にカーペットを敷き詰め接着剤で固定をしている。寒暖差にはカーペットを２重にするなど検討をする。夏のトイレは西日が当たり暑くなるため、簾を使用と、サーキュレーターで風を送っている。
2			
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	A　Light

公表日 令和　7年　3月　24日

利用児童数 １５名　　回収数 12

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2				スペースを十分に確保できるように、今後も不必要なものは倉庫や事務所などに移動し活動を行います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10			2		現在は、常勤で保育士・児童指導員を3名配置し、必要に応じて非常勤職員を追加で配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		1		室内はバリアフリーとなっております。床の色分けや扉で、訓練室・事務所などを分けております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1				毎日、使用した備品の消毒、掃除を行っています。今後も継続して清潔を保持します。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	2			子どもの特性の専門的・客観的見解を知りたい。	特性の把握に努めていくとともに、各職員が専門性を深めるための研修などに参加しお伝えをします。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	9	1		2		支援プログラムは、入り口に掲示とSNSにあげております。今後もたくさんの経験を楽しくできるように支援をします。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1				送迎や面談などで保護者と課題の共有を行い、個別支援計画を作成します。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			2		子どもからの意見も取り入れ、活動プログラムを工夫します。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	3	5		積極的には設けておりません。公園へ行った際に地域の子どもたちに挨拶をする程度です。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	3	2	3		今後の課題として検討をします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10	2			場面により本人の能力が大きく変わるため、家での困りごとが伝わりづらいことがある。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1			人による。	

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	6	3		コロナ過以前は、家族交流会等を開催していました。今後の課題として検討をします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9		1	2		ホームページやSNSで情報を発信しています。入り口にはSNSのQRコードを設置しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		5		年に２回避難訓練を行っています。今後も連絡帳やSNSで発信をします。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	9	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	3				子どもたちが楽しみに通所できるように、子どもたちからやりたいことなど意見を聞き支援をします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1				

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	Ａ　Ｌｉｇｈｔ

公表日　7年　3月　24日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		不必要なものは、倉庫や事務所などに移動し活動を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		人員を多く配置したい時間帯は、非常勤職員を追加配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		敷地内バリアフリーとなっている。	玄関での靴の着脱がやりにくそうにしている児童がいる。椅子が低く座り立ちが不安定。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の営業後の掃除と、気になった所があれば、その都度掃除をして清潔に心がけている。 寒暖対策はエアコン３台稼働。必要時は石油ストーブを準備してある。トイレの日差しは簾で対策をしている。	床が固く冬は冷たい。トイレは日差しが強く夏は暑い。子どもたちの年齢も上がり体も大きくなったので、できればもう少し広いとよい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	個別の部屋はないが、必要時には相談室などの使用を認めている。	着替え場所の提供に困る。学習机は広めの座卓共有で集中しずらい。トイレが１室なのが不便。仕切りがパーテーションのみなので、個別の部屋があると良い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			一部の職員だけになりがち。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年実施し、ホームページで公表している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			勤務時間の短い職員からの意見は把握する機会が少ない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修計画を作成し、計画的に研修を受けている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		対象児なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		公園などであった時に挨拶をする程度。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		ご家族に有益な情報をSNSでシェアするのも良いと思う。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		コロナ過以前は、家族交流会等を開催していた。今後の課題として検討をします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			予防接種の把握まではしていない。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			